

景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

郵送による無記名アンケート方式	
調査時点	令和8年9月1日発送
	令和8年9月14日回答期限
調査対象	信用保証利用先3,000企業
有効回答数	392 企業(回答率 13.1%)

※ 当期：R08年7月～9月実績見込
次期：R08年10月～12月期予測

【DI値について】

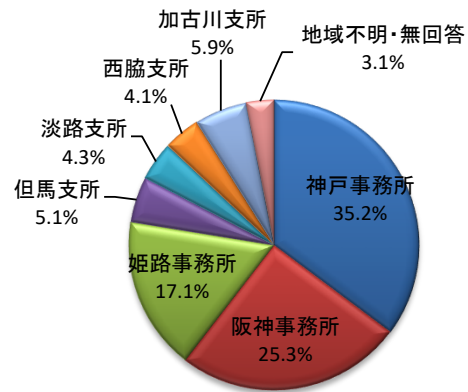
- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

I. 貴社の概要について

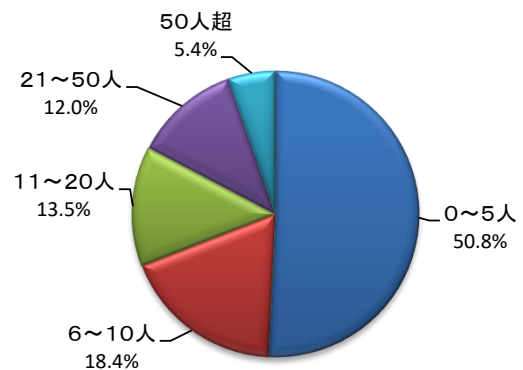
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	138	35.2%
阪神事務所	99	25.3%
姫路事務所	67	17.1%
但馬支所	20	5.1%
淡路支所	17	4.3%
西脇支所	16	4.1%
加古川支所	23	5.9%
地域不明・無回答	12	3.1%
合計	392	100.0%



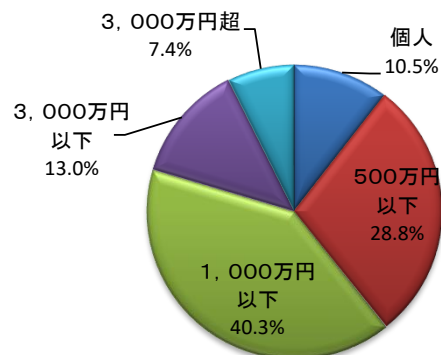
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	199	50.8%
6～10人	72	18.4%
11～20人	53	13.5%
21～50人	47	12.0%
50人超	21	5.4%
無回答	0	0.0%
合計	392	100.0%



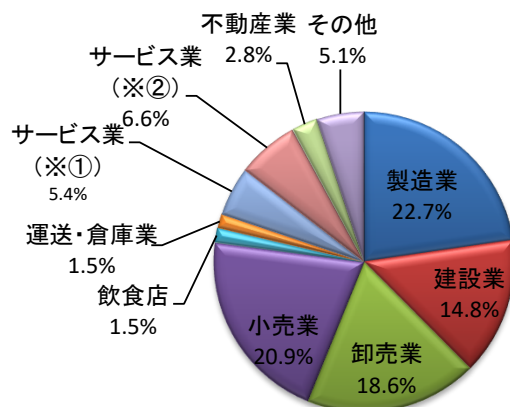
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	41	10.5%
500万円以下	113	28.8%
1,000万円以下	158	40.3%
3,000万円以下	51	13.0%
3,000万円超	29	7.4%
無回答	0	0.0%
総計	392	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	89	22.7%
建設業	58	14.8%
卸売業	73	18.6%
小売業	82	20.9%
飲食店	6	1.5%
運送・倉庫業	6	1.5%
サービス業(※①)	21	5.4%
サービス業(※②)	26	6.6%
不動産業	11	2.8%
その他	20	5.1%
無回答	0	0.0%
合計	392	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1) 当期(26年7～9月期)は、前期(26年4～6月期)に比べどのような状況ですか。
 (2) 次期(26年10～12月期)は、当期(26年7～9月期)に比べどう思いますか。

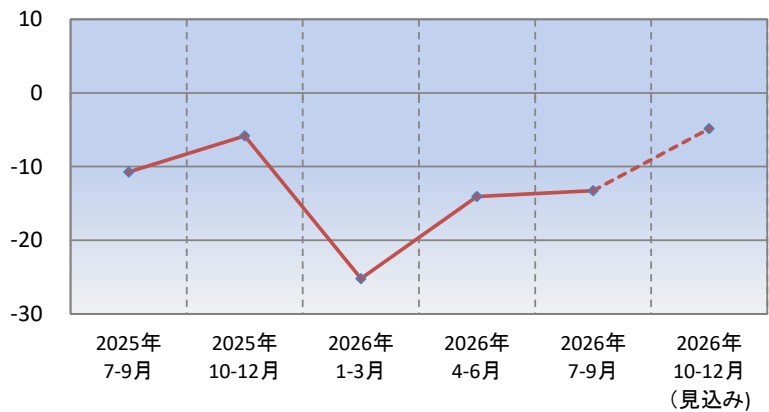
【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	92	23.5%
変わらない	156	39.8%
減少した	144	36.7%
無回答	0	0.0%
総計	392	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	107	27.3%
変わらないと思う	159	40.6%
減少すると思う	126	32.1%
無回答	0	0.0%
総計	392	100.0%



生産・売上DI(増加－減少)

調査時期(実績)	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月	2025年 4～6月	2025年 7～9月	2025年 10～12月	2026年 1～3月	2026年 4～6月	2026年 7～9月	2026年 10～12月 (見込み)
兵庫県	▲ 8.1	▲ 4.3	▲ 15.2	▲ 13.3	▲ 10.7	▲ 5.9	▲ 25.2	▲ 14.1	▲ 13.3	▲ 4.8

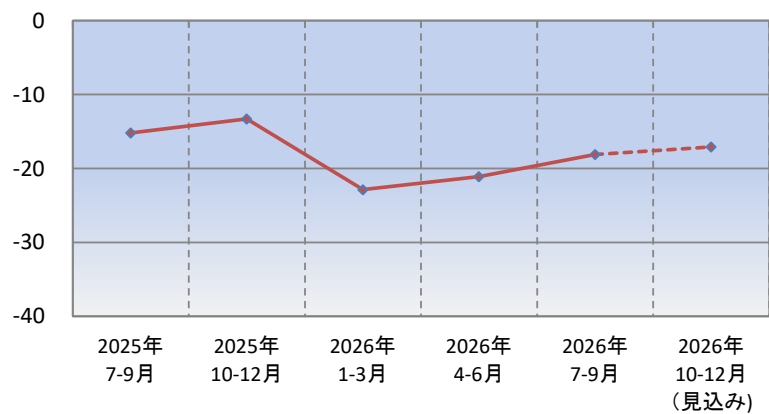
【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	58	14.8%
変わらない	205	52.3%
悪化した	129	32.9%
無回答	0	0.0%
総計	392	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	66	16.8%
変わらないと思う	193	49.2%
悪化すると思う	133	33.9%
無回答	0	0.0%
総計	392	100.0%



採算DI(好転－悪化)

調査時期(実績)	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月	2025年 4～6月	2025年 7～9月	2025年 10～12月	2026年 1～3月	2026年 4～6月	2026年 7～9月	2026年 10～12月 (見込み)
兵庫県	▲ 19.2	▲ 14.5	▲ 15.4	▲ 23.3	▲ 15.2	▲ 13.3	▲ 22.9	▲ 21.1	▲ 18.1	▲ 17.1

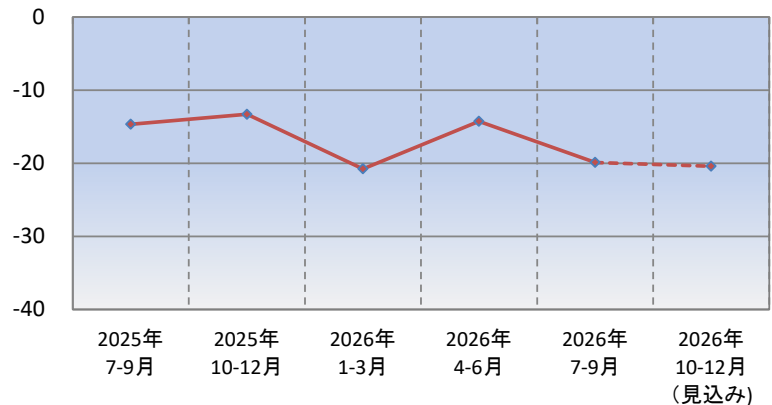
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	38	9.7%
変わらない	238	60.7%
悪化した	116	29.6%
無回答	0	0.0%
総計	392	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	36	9.2%
変わらないと思う	240	61.2%
悪化すると思う	116	29.6%
無回答	0	0.0%
総計	392	100.0%



資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期 (実績)	2024年 7-9月	2024年 10-12月	2025年 1-3月	2025年 4-6月	2025年 7-9月	2025年 10-12月	2026年 1-3月	2026年 4-6月	2026年 7-9月	2026年 10-12月 (見込み)
兵庫県	▲ 17.7	▲ 16.8	▲ 13.8	▲ 19.7	▲ 14.7	▲ 13.3	▲ 20.8	▲ 14.3	▲ 19.9	▲ 20.4

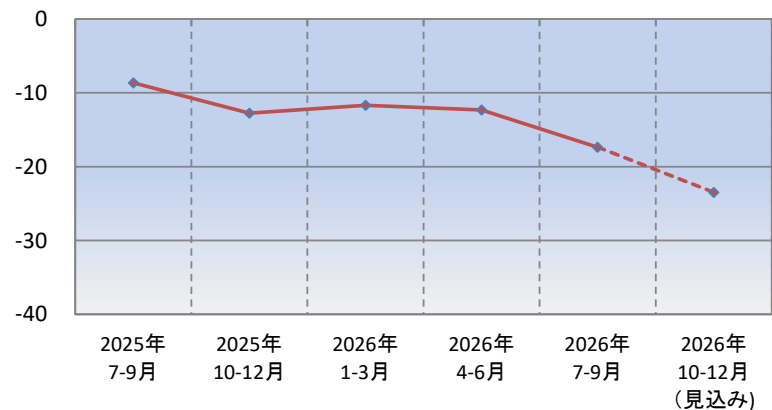
【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	13	3.3%
変わらない	298	76.0%
難しくなった	81	20.7%
無回答	0	0.0%
総計	392	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	12	3.1%
変わらないと思う	276	70.4%
難しくなると思う	104	26.5%
無回答	0	0.0%
総計	392	100.0%



借入難易感DI(容易-難しい)

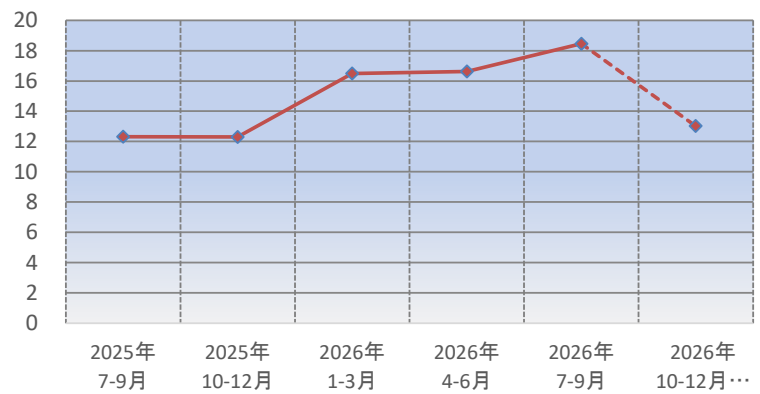
調査時期 (実績)	2024年 7-9月	2024年 10-12月	2025年 1-3月	2025年 4-6月	2025年 7-9月	2025年 10-12月	2026年 1-3月	2026年 4-6月	2026年 7-9月	2026年 10-12月 (見込み)
兵庫県	▲ 10.8	▲ 8.0	▲ 11.7	▲ 13.6	▲ 8.6	▲ 12.8	▲ 11.7	▲ 12.3	▲ 17.3	▲ 23.5

当期(7-9月)のDI値は、前回調査(4-6月)に比べ「生産・売上」「採算」において改善し、「資金繰り」「借入難易度」において悪化しています。
次期(10-12月)のDI値は、当期(7-9月)に比べ「生産・売上」「採算」において改善し、「資金繰り」「借入難易度」において悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	85	21.7%
変わらないと思う	273	69.6%
弱まると思う	34	8.7%
無回答	0	0.0%
総計	392	100.0%



信用保証付要請DI(強まる－弱まる)										
調査時期 (見込み)	2024年 4～6月 (7～9月)	2024年 7～9月 (10～12月)	2024年 10～12月 (1～3月)	2025年 1～3月 (4～6月)	2025年 4～6月 (7～9月)	2025年 7～9月 (10～12月)	2025年 10～12月 (1～3月)	2026年 1～3月 (4～6月)	2026年 4～6月 (7～9月)	2026年 7～9月 (10～12月)
兵庫県	16.0	10.1	16.0	9.5	12.3	12.3	16.5	16.6	18.5	13.0

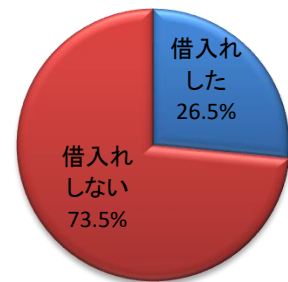
金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

Ⅲ.当期(26年7～9月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
※手形の割引は含めません

	26年7～9月期		26年4～6月期	26年1～3月期	25年10～12月期	25年7～9月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	104	26.5%	22.2%	20.8%	23.9%	28.0%
借入れしない	288	73.5%	77.8%	79.2%	76.1%	72.0%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

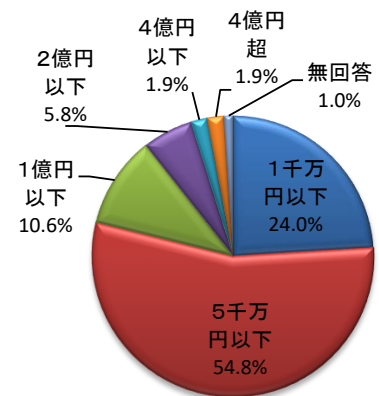
当期の借入れは、前回調査と比べ、4.3ポイント増加しています。



当期に借入れした総額はいくらですか。

	26年7～9月期		26年4～6月期	26年1～3月期	25年10～12月期	25年7～9月期
借入れ総額	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	25	24.0%	33.7%	32.5%	26.7%	30.8%
5千万円以下	57	54.8%	50.5%	46.3%	43.3%	45.8%
1億円以下	11	10.6%	9.9%	15.0%	20.0%	14.0%
2億円以下	6	5.8%	3.0%	1.3%	5.6%	5.6%
4億円以下	2	1.9%	0.0%	3.8%	0.0%	1.9%
4億円超	2	1.9%	2.0%	0.0%	3.3%	1.9%
無回答	1	1.0%	1.0%	1.3%	1.1%	0.0%
総計	104	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

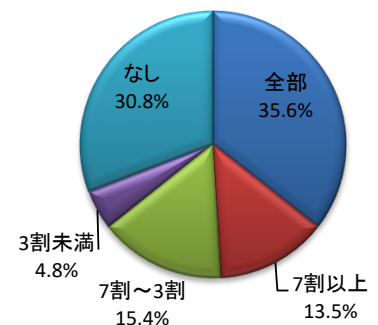
当期の借入総額は、前回調査と比べ「5千万以下」が4.3ポイント増加し、「1千万円以下」が9.7ポイント減少しています。



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

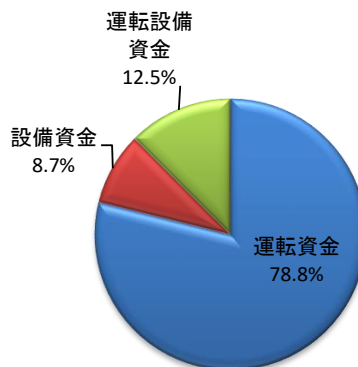
	26年7～9月期		26年4～6月期	26年1～3月期	25年10～12月期	25年7～9月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	37	35.6%	31.7%	42.5%	34.4%	29.0%
7割以上	14	13.5%	14.9%	2.5%	10.0%	5.6%
7割～3割	16	15.4%	4.0%	10.0%	17.8%	11.2%
3割未満	5	4.8%	7.9%	8.8%	5.6%	9.3%
なし	32	30.8%	41.6%	35.0%	30.0%	44.9%
無回答	0	0.0%	0.0%	1.3%	2.2%	0.0%
総計	104	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

信用保証付き借入れの割合は、前回調査と比べ「全部」とする回答が3.9ポイント増加しています。



当期借入金の目的は何ですか。

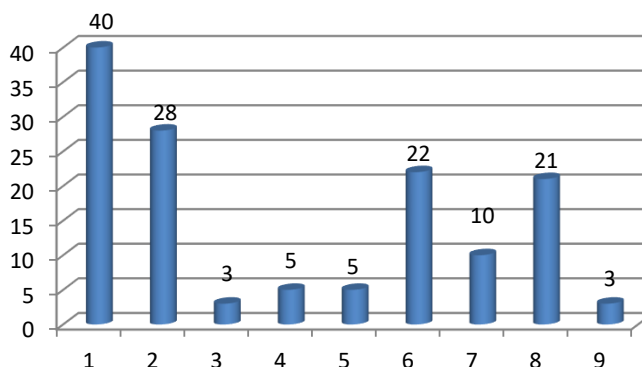
選択肢	回答数	構成比
運転資金	82	78.8%
設備資金	9	8.7%
運転設備資金	13	12.5%
無回答	0	0.0%
総計	104	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

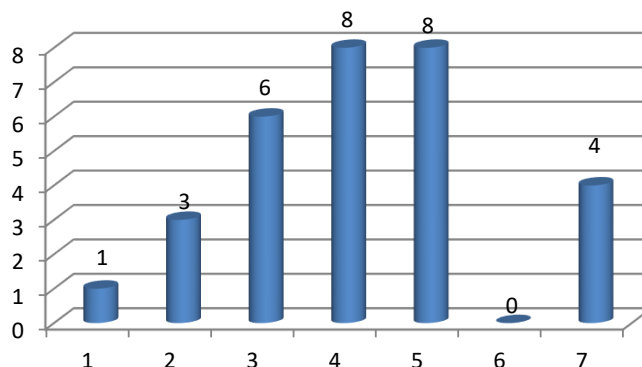
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	40
2 売上減少・赤字補填	28
3 過剰在庫対応	3
4 支払条件短縮対応	5
5 回収条件悪化対応	5
6 売上増加運転資金	22
7 在庫積み増し	10
8 季節運転資金	21
9 その他	3
総計	137



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が最も多く、次いで「売上減少・赤字補填」「売上増加運転資金」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

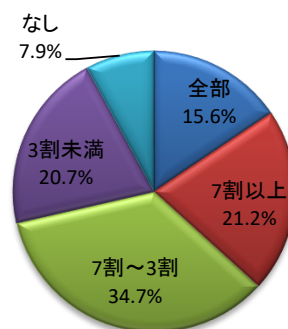
選択肢	回答数
1 新規事業	1
2 生産増強	3
3 合理化・効率化	6
4 設備老朽化に伴う入替	8
5 修理・修繕	8
6 公害防止・環境関連	0
7 その他	4
総計	30



設備資金の種類は、「設備老朽化に伴う入替」「修理・修繕」が最も多く、次いで「合理化・効率化」となっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(26年9月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

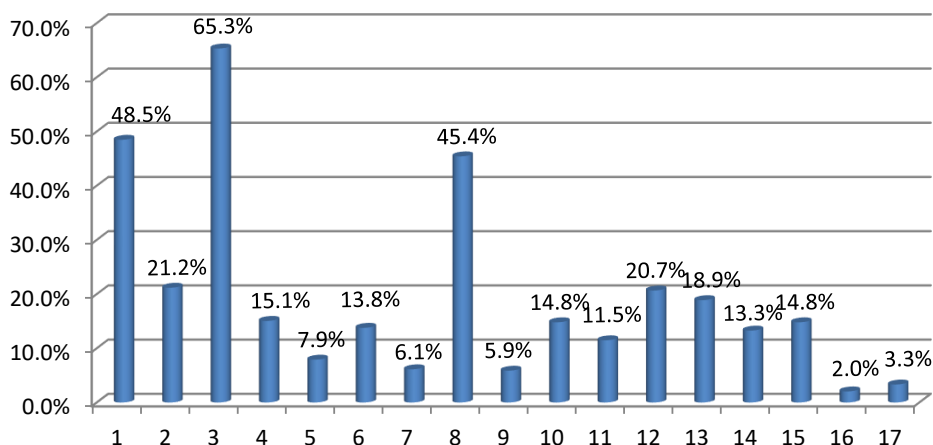
	26年7～9月期		26年4～6月期	26年1～3月期	25年10～12月期	25年7～9月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	61	15.6%	16.9%	19.0%	16.5%	17.0%
7割以上	83	21.2%	20.7%	18.7%	26.1%	17.5%
7割～3割	136	34.7%	29.9%	32.5%	26.1%	31.9%
3割未満	81	20.7%	22.0%	19.7%	23.9%	22.5%
なし	31	7.9%	10.5%	10.1%	7.4%	11.0%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「7割以上」「7割～3割」とする回答が増加し、「全部」「3割未満」「なし」とする回答が減少しています。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	190	48.5%	9 過剰在庫	23	5.9%
2 競争激化	83	21.2%	10 設備投資	58	14.8%
3 コスト高	256	65.3%	11 後継者難	45	11.5%
4 業界構造変化	59	15.1%	12 資金調達	81	20.7%
5 取引条件の悪化	31	7.9%	13 借入過多	74	18.9%
6 消費者ニーズの多様化	54	13.8%	14 為替	52	13.3%
7 技術・商品開発	24	6.1%	15 海外情勢(中東等)	58	14.8%
8 人材・労働力の確保	178	45.4%	16 米国関税措置の影響	8	2.0%
			17 その他	13	3.3%



経営上の課題は、「コスト高」「売上・受注の減少」「人材・労働力の確保」が群を抜いて上位となっており、次いで、「競争激化」「資金調達」「借入過多」の順となっています。

